

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 22.3.16 第 174 回国会第 6 号

3 月 16 日（火）第 6 回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件（ハッ場ダム問題等）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）川原湯温泉旅館組合長	豊田 明 美君
水源開発問題全国連絡会共同代表	嶋津 暉 之君
東京大学名誉教授・法政大学客員教授	虫 明 功 臣君
東洋大学国際地域学部教授	松 浦 茂 樹君
京都大学名誉教授	奥 西 一 夫君

（質疑者及び主な質疑内容）

田 中 康 夫君（民主）

- ・平成 22 年 2 月 8 日の「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」において、鈴木雅一委員が、54 流域すべてについて 1 次流出率が大き過ぎる、また飽和雨量が逆に小さ過ぎると言っている。この点に関する虫明参考人の考えはいかがか。
- ・堤防の補強策として、土でできた堤防の中に鋼の矢板を入れるなどの方法があると考えますが、堤防の補強とその効果について嶋津参考人の考えはいかがか。
- ・補助ダムについて本体着工が始まっていないのに、負担金交付への各県の期待値が高まっているから補助金を出さないといけないと前原国土交通大臣が発言していることについて、嶋津参考人はどのように考えるか。

徳 田 毅君（自民）

- ・首都圏における取水制限は平成に入ってから 6 回実施されている。特に平成 8 年の取水制限は長期に及んでおり、首都圏の水は余っているという嶋津参考人の主張と現状に相違があると考えますがいかがか。
- ・嶋津参考人が主張する堤防強化には、どのくらいの予算が必要となるのか。また、その強化にはどのくらいの期間を要し、その間の安全策はどのように確保するのか。
- ・ハッ場ダムの治水効果として、嶋津参考人が、八斗島地点における水位低下がわずか 13 cm であるとしているが、その評価を虫明参考人はどう考えるか。

塩 川 鉄 也君（共産）

- ・前原国土交通大臣からハッ場ダム固有の建設中止理由として受けた説明の内容を豊田参考人に伺いたい。
- ・昭和 55 年の利根川水系工事実施基本計画の改訂の際に変

更された基本高水流量が過大であったことが、ダム建設が続く理由となっているとの指摘があるが、松浦参考人、虫明参考人及び嶋津参考人の所見を伺いたい。

- ・ダム湛水により地すべり被害が発生した際に、ダム事業者が、地すべりを事前に予測することは困難であるため責任はないと主張する事例があるが、その問題点について奥西参考人に伺いたい。

柿 澤 未 途君（みんな）

- ・前原国土交通大臣と嶋津参考人との間でハッ場ダム建設は中止すべきとする前提に違いがあるように思うが、この点について同参考人の認識を伺いたい。
- ・スーパー堤防の整備をハッ場ダム建設中止の代替案とした場合に、費用対効果等の面から現実的でないと思う。この点に対する嶋津参考人の所見を伺いたい。
- ・ハッ場ダムの本体工事が公約どおり中止された場合の生活再建の見直しに対する豊田参考人の思いを伺いたい。

竹 内 譲君（公明）

- ・ハッ場ダムによる利水面の効果について、松浦参考人に説明を願いたい。
- ・松浦参考人が主張するように、ハッ場ダムを「利水専用ダム」にした場合、現在考えられているダムと比べ、規模、建設費用の違いは出てくるのか。
- ・ダム建設の検証に地球温暖化の影響をどのように盛り込むのか、虫明参考人の見解をお聞きしたい。

中 島 隆 利君（社民）

- ・ハッ場ダムの事業費が当初よりも増大することに関する嶋津参考人の見解をお聞きしたい。また、事業を継続す

れば、事業費は今後どうなるのか。

- ・ダム建設を中止した場合の補償の在り方について、損失補償、生活再建、地域開発といった3本柱の補償の必要性を主張する奥西参考人の見解を伺いたい。
- ・国に対して今後どのようなことを訴えたいのか、豊田参考人の意見を伺いたい。